

日本熱測定学会第12回通常総会

日 時 昭和60年9月26日 16時40分開会

会 場 北海道大学工学部(第21回熱測定討論会会場)

1. 総会の成立

総会出席者は委任状(279通)を含めて309名、正会員総数(698名)の1/4を超えるので第12回通常総会は会則第17条により成立した。

2. 議 題

- 1) 昭和60年度事業報告(中間)承認の件
- 2) 昭和60年度収支決算(中間)承認の件
- 3) 昭和61年度役員の件
- 4) 会則の改正決議の件
- 5) 昭和61年度事業計画決議の件
- 6) 昭和61年度収支予算決議の件

について審議し、それぞれ承認、決議された。但し、1) 昭和60年度事業報告、2) 昭和60年度収支決算については、8月31日までの中間報告の承認であり、会期末(9月30日)までの事業報告及び収支決算を61年度第1回幹事会の議決に委ねることを承認した。従って、昭和61年度第1回幹事会の承認事項を含めて報告する。

1. 昭和60年度事業報告(59.10.1~60.9.30)

(1) 会員現況 ()内は維持会員口数

	59.10.1	入会者	退会者	60.9.30
正 会 員	675	62	39	698
維持会員	34(66)	2(6)	2(6)	34(66)

(2) 集会関係

- i) 委員会1回(59.11.14 阪工大)、幹事会4回(阪工大1回、東京3回)、編集委員会4回(大阪3回、大津1回)、役付幹事会4回(12.19, 5.13, 7.20, 8.28)、
 応用熱測定研究グループ会合1回
 (59.11.13 阪工大)
 熱力学データベース作業グループ会合1回
 (60.8.10)
- ii) 第20回熱測定討論会
 (59.11.13~16 阪工大記念講堂)

発表件数 { 一般 { : 口頭 39件(ミニシンポ
 "Development of
 Microcalorimetry
 含む)
 : ポスター 61件
 記念講演: 2件, 特別講演: 6件

参加登録者 216名、

記念論文集をThermochimica Actaの特集号として出版

第21回熱測定討論会運営委員会
 (60.6.20, 東京)

iii) 第11回通常総会(59.11.14, 阪工大)

iv) 第11回熱測定講習会(60.5.9~10, 大阪府商工会館, 参加者76名)

v) 昭和61年度 第1回幹事会(60.9.25, 北大)

同 上 委員会(60.9.26, 北大)

第12回通常総会(60.9.26, 北大)

第21回熱測定討論会(60.9.25~27, 北大)

応用熱測定研究グループ会合(60.9.27, 北大)

(3) 共催、後援、協賛関係

- i) 共催: 第7回溶液化学シンポジウム
 (59.11.26~27, 東京)
 日本結晶学会59年度年会
 (59.11.13~15, 京都)
 第12回高温化学問題研究会
 (59.12.8, 大阪)
- ii) 協賛: 第5回熱物性シンポジウム
 (59.10.29~31, 神戸)

(4) 出版関係

- i) 会誌「熱測定」の発行(Vol.11, No.4, 62P, Vol.12, No.1~3, 162P, 計224P, 各号900部)
 内容: 巻頭言1, 論文2, 総合論文3, 総説5, 解説3, 講座4, 応用熱測定6, 小特集(熱測定への期待と提言), その他レポート, トピックス, 資料, 文献紹介など,
- ii) 「熱測定の進歩」第2巻の発行と第3巻の編集
- iii) 「熱分析の基礎と応用」の編集・発行
- iv) 「会員名簿」の発行(会員無償配布, 8月)

(5) グループ活動

- i) 応用熱測定研究グループ(主査: 小沢丈夫)
 会誌「熱測定」に「応用熱測定の頁」を毎号1~2件掲載

ii) BCT (Bulletin of Chemical Thermodynamics)情報収集作業グループ(主査：菅 宏)

iii) 「熱力学データベース作業グループ(主査：山内 繁)

パソコン用熱力学データベース：MALT の開発

(6) 国際協力

i) 国際学術団体(IUPAC, ICTA, CODATA)および各国熱測定学会との協力

国際協力担当 IUPAC：菅 宏(阪大理)

IUPAC熱力学および熱化学委員会委員

ICTA：斎藤安俊(東工大工材研)→小沢丈夫(電総研)

ICTA Council Member

CODATA：山内 繁(東大工)日本コデータ協会役員

(7) その他

i) 第22回熱測定討論会(昭和61年10月予定)を筑波地区において、第7回熱物性シンポジウムと合同で開催する件について、開催日時、運営方法等に関して、熱物性研究会役員と協議、準備を進めている。

ii) 日中合同熱測定シンポジウム(仮名称)を、日本熱測定学会と中国化学会との合同で主催する件について、近く実行委員会を設けて、中国側との具体的な折衝に入るべく準備を進めている。

開催は中国杭州市において、昭和61年11月第一週の2日間に予定されている。

2. 昭和60年度収支決算(59.10.1-60.9.30)

科 目	決算額(円)	予算額(円)
収 入	6,938,114	6,415,000
(I) 会 費 収 入	3,450,000	3,345,000
正会員会費	2,130,000	2,025,000
維持会員会費	1,320,000	1,320,000
(II) 事 業 収 入	3,419,403	2,990,000
会誌発行収入	1,202,760	1,230,000
討論会収入	645,986	330,000
講習会収入	1,570,657	1,430,000
(III) 雑 収 入	68,711	80,000
支 出	7,218,147	6,615,000
(I) 事 業 費	4,188,710	3,790,000
会誌発行費	3,759,110	3,340,000
討論会(21回)	50,000	50,000
講習会(11回)	50,000	50,000
研究グループ	18,500	30,000
講演会	0	20,000

名簿作成費	311,100	300,000
(II) 管 理 費	3,029,437	2,825,000
会 議 費	125,080	135,000
交 通 費	624,900	530,000
事 務 局 費	1,750,000	1,750,000
通 信 費	238,660	220,000
消 耗 品 費	228,580	130,000
雑 費	67,217	60,000
差 引 残 高	△280,033	△200,000
前期繰越剰余金	2,549,153	
次期繰越剰余金	2,269,120	

現 金	295,908
普 通 預 金	782,647
定 期 預 金	1,000,000
振 替 貯 金	190,565
合 計	2,269,120

熱 測 定 金	900,000
特 別 基 金	

3. 昭和61年度役員(○印：新役員)

会 長○近 藤 良夫(京大工)

委 員 安 芸 初 美(福岡大薬)

○石切山 一 彦(東レリサーチ)

市 橋 正 彦(真空理工)

○榎 敏 明(分子研)

大 島 民 夫(東北大工)

○大 塚 優(グレラン製薬)

沖 野 孝 之(島津)

○奥 谷 猛(北開試)

○木 村 隆 良(近畿大理工)

○小 島 敬 和(防衛大)

○金 野 隆 光(農環技研)

○塩 坪 聡 子(大阪女子学園短大)

柴 田 淳(理学)

○菅 野 竹 雄(甲南大理)

高 野 光 男(阪大工)

○寺 田 勝 英(千葉大薬)

寺 本 芳 彦(セイコー電子)

東 原 秀 和(京大工)

○仲 町 秀 雄(武田薬品)

中 村 邦 雄(神奈川工試)

萩 原 清 市(東京理工)

馬 場 義 博(阪大工)

○藤 川 辰一郎(東北大工)

前 川 尚(北大理)

○馬 越 淳(農生物資源研)

松 井 恒 雄(名大工)

松 下 和 正 (長岡技科大)
 ○丸 山 俊 夫 (東工大工材研)
 ○溝 田 忠 人 (山口大工)
 山 田 和 廣 (大分医大)
 ○横 田 力 男 (宇宙研)
 脇 原 将 孝 (東工大工)
 幹 事○小 沢 丈 夫 (電総研) (編集)
 ○高 木 定 夫 (近畿大理工) (会計)
 堤 和 男 (豊橋技科大) (会計)
 ○十 時 稔 (東レリサーチ) (企画)
 ○中 村 茂 夫 (神奈川大工) (庶務)
 水 谷 惟 恭 (東工大工) (企画)
 山 内 繁 (東大工) (企画)
 横 川 晴 美 (化技研) (庶務)
 会計監査○中 西 正 城 (お茶大理)
 編集委員○(委員長)小 沢 丈 夫 (電総研)
 ○阿 竹 徹 (東工大工材研)
 ○市 原 祥 次 (三菱油化)
 ○神 本 正 行 (電総研)
 ○菅 野 等 (明星大理工)
 ○寺 田 勝 英 (千葉大薬)
 ○畠 山 立 子 (織高研)
 ○三 橋 武 文 (無機材研)
 (地域編集委員)
 ○伊 佐 公 男 (福井大教育)
 板 垣 乙未生 (東北大選研)
 草 野 一 仁 (宮崎大工)
 ○高 橋 克 忠 (阪府大農)
 ○前 園 明 一 (真空理工)
 横 川 敏 雄 (北大理)

4. 会則の改正

第2章 目的および事業

第3条 本会の目的は、熱測定(熱量測定・熱分析)
 およびこれと密接に関連した科学に興味を
 もつ研究者相互の連絡を通じ、熱測定に関
 する科学および技術の研究と応用を促進す
 ることにある。

改正 上記第3条の下線の部分を下記のとおり改正
 する。

熱測定(熱量測定・熱分析・その他の熱力学
 諸量と熱物性値測定)

5. 昭和61年度事業計画(60.10.1—61.9.30)

(1) 集会関係

i) 幹事会4回(東京), 役付幹事会3回(東京), 編

集委員会4回(東京), 応用熱測定研究グループ
 会合1回(北大), 熱力学データベース作業グル
 ープ会合1回(東京)

ii) 熱測定講習会

a) 第12回講習会(60.10.16—17, 機械振興会館)

b) 第13回講習会(61.5.7—8, 大阪府商工会館)

iii) 熱測定ワークショップ

a) 第1回ワークショップ(60.10.18, 機械振興会館)

生物系へのカロリメトリーの応用

b) 第2回ワークショップ(61.5.9 第13回講習
 会の3日目, 大阪府商工会館)
 高分子材料の研究開発のための熱分析

iv) 第22回熱測定討論会運営委員会2回

第22回熱測定討論会は、第7回熱物性シンポ
 ジウムと合同で筑波地区において開催する予定
 (61年10月)

v) 日中合同熱測定シンポジウム実行委員会2回

日本熱測定学会と中国化学会との日中合同熱測
 定シンポジウムは、1986年11月第1週に2日
 間、杭州市において開催する予定

(2) 共催関係

協賛: 第6回熱物性シンポジウム
 (60.11.6—8, 仙台)

共催: 第29回粘土科学討論会
 (60.10.28—11.1, 岡山)

(3) 出版関係

i) 会誌「熱測定」の発行(Vol.12, No.4—Vol.
 13, No.1—3)

各号950部

ii) 「熱測定の進歩」第3巻の発行と第4巻の編集

(4) グループ活動

応用熱測定研究グループ(主査: 斎藤安俊)
 その他は前年度に準ず。

(5) 国際協力

前年度に準ず。

6. 昭和 61 年度収支予算 (60. 10. 1—61. 9. 30)

科 目	予算案(円)
収 入	6,734,000
(I) 会 費 収 入	3,444,000
正 会 員 会 費	2,124,000
維 持 会 員 会 費	1,320,000
(II) 事 業 収 入	3,228,000
会 誌 発 行 収 入	1,180,000
討 論 会 収 入 (要旨集)	45,000
講 習 会 収 入	2,003,000
(III) 雑 収 入	65,000

支 出	6,715,000
(I) 事 業 費	3,960,000
会 誌 発 行 費	3,755,000
討 論 会 (22 回)	50,000
講 習 会 (12, 13 回)	50,000
研 究 グ ル ー プ	25,000
ワークショップ (1, 2 回)	80,000
(II) 管 理 費	2,755,000
会 議 費	125,000
交 通 費	525,000
事 務 局 費	1,750,000
通 信 費	165,000
消 耗 品 費	130,000
雑 費	60,000
差 引 残 高	19,000

日本熱測定学会編

熱分析の基礎と応用

—— 生物からセラミックスまで、その多彩な展開 ——

B 5 版 200 頁

定価 ¥3,500(送料共)

学会初めての試みとして、100 余名におよぶ会員の協力を得て、本書“熱測定の基礎と応用”を編纂した。わかりやすい熱分析の入門書を求める初心者希望にそったことと、あまりにも広がった熱分析を概観しようとする専門家の要望にこたえるためである。

特 長

1. 熱分析の原理、基礎技法、解析法、具体的応用例が一目でわかる構成
2. 一項目 1 頁、または 2 頁の短い、しかし要を得た記述
3. 107 項目におよぶ具体的測定例
4. 全項目についている参照項目による相互関連性
5. 計算に必要な数値を網羅した付録
6. 目次、参照項目、索引を活用すれば、希望する情報をすぐ引きだせる大項目百科辞典方式

発
行

科学技術社

〒113 東京都文京区湯島 1-5-31 第一金森ビル
電 話 03-815-8163 F A X. 03-815-8489